



Rotary

# 国際ロータリー第2640地区 会長エレクト研修セミナー (P E T S)

2016-2017年度 国際ロータリーのテーマ



## 当日ノート

第1日目 2016.3.5(土) 於:ホテルアゴーラリージェンシー堺  
第2日目 " 3.20(日) 於:和歌山県 JA ビル

# 会長セレクト研修セミナー当日ノート目次

\* PETSの記録中、地区研修協議会配布冊子並びに同記録と重複する内容は、当該冊子記述に譲りここではPETS特有の記録をまとめました

I	スナップショット PETS第一日目 (ホテルアゴーラリージェンシー堺)	3頁
II	スナップショット PETS第二日目 (和歌山県JAビル)	5頁
III	“ロータリー財団の歴史と現状” (パワーポイント) 村上有司第3ゾーンRRFC	6頁
IV	PETSグループ討論(セッション)まとめ	25頁

# I スナップショット PETS第一日目(ホテルアゴーラリージェンシー堺)

福井ガバナーエレクト挨拶



会長エレクトの皆さん



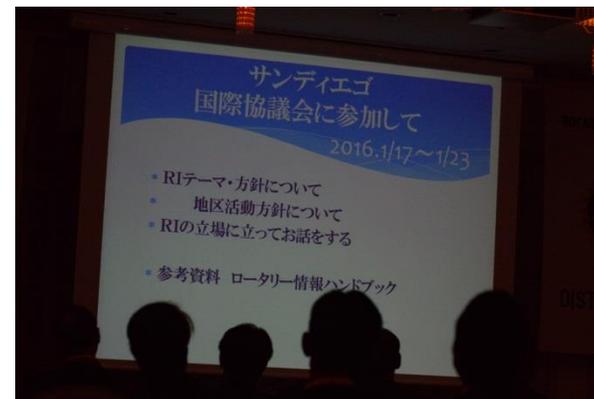
2016-17年度RIテーマの説明



山田次期地区代表幹事次年度説明



国際協議会報告





会長エレクトの皆さんとの質疑応答



石崎次期財務委員長から予算説明



辻ガバナー, 福井ガバナーエレクト, 岡本ガバナーノミニ, 山田次期地区代表幹事



## II スナップショット PETS第二日目(和歌山県JAビル)



二日目開会



会長エレクトの皆さんのセッション



テーブルリーダーからセッション結果発表



### Ⅲ 第2640地区講演(パワーポイント)

# ロータリー財団の 歴史と現状

平成28年3月20日

第3ゾーンRRFC 村上有司

# 第1 ロータリークラブの誕生と現況

1、1905. 2. 23 夜

アメリカ・シカゴ・ディアボーン・ストリート127番地、

ユナイティ・ビル7階(ローアの小さな事務所)

ポール・ハリス(弁護士), シルベスター・シール(石炭商人),  
ガスターバス・ローア(鉱業エンジニア), ハイラム・ショーレー  
(仕立屋)が、“親睦”のためのクラブづくり

## 【綱領】

第1項: 本クラブ会員の事実上の利益の増進(互恵取引)。

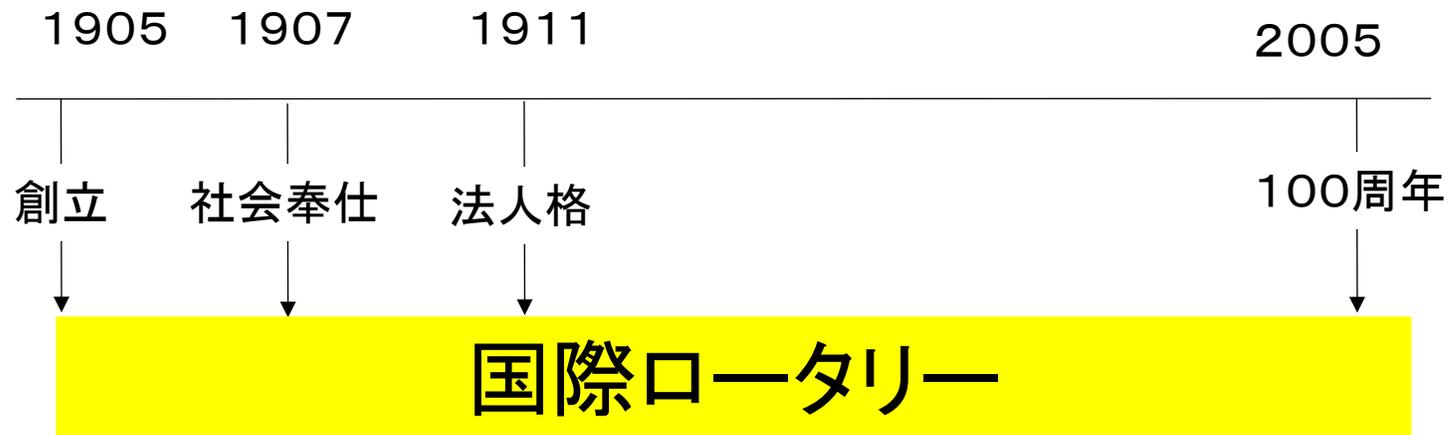
第2項: 通常社交クラブに付属する親睦およびその他の、  
特に必要とする事項の推進(親睦)。

2、1907. “社会奉仕の種”がまかれる。

ドナルド・カーター(特許弁護士)

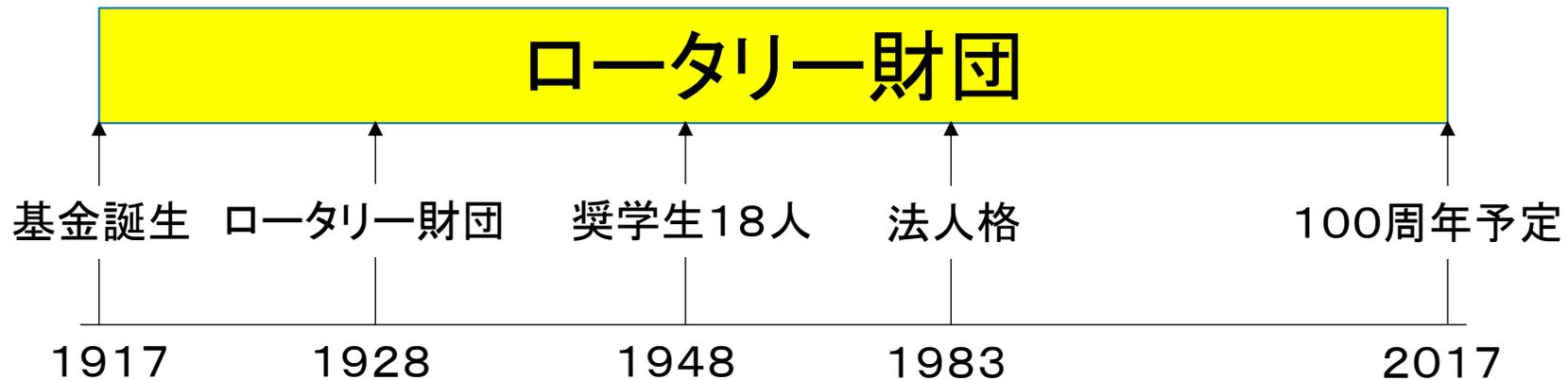
【綱領】第3項:シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民として誇りと忠誠心を市民の間に拡げる。

3、200を超える国又は地域で、約35000が誕生  
(会員120万人超)



## 第2 財団の発展と現状

- 1、**アーチ・C・クランフ**(クリーブランドRC)の提唱  
1916～1917年RI会長
- 2、1917. アトランタ国際大会  
『全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするための基金をつくろう』
- 3、26. 5 \$ 余剰金
- 4、年間約2億 \$ を集める



# 第3 寄付金

## 1、寄付の種類

1、年次基金寄付・・・累計1000 \$ 寄付者 ポール・ハリス・フェロー  
3年後にロータリー活動の資金源となる(補助金)。

2、恒久基金寄付・・・累計1000 \$ 寄付者 ベネファクター  
寄付元金は当面使用しない。

1994～2025年間に10億 \$を集める

3、特定寄付

使い道を特定してする寄付。

ポリオ・プラスや冠名寄付。

## 2、2016－17年度の日本の寄付目標額

- 年次基金・・・1人当たり150\$（日本全体約1350万\$）
- ポリオプラス基金・・・1人当たり30\$（日本全体約270万\$）
- 恒久基金・・・各クラブでベネファクターまたは遺贈友の会会員1名増
- 大口寄付・・・1万\$以上のご寄付を各ゾーン25件  
（日本全体で総額100万\$）
- 地区のDDFの寄贈・・・DDFの20%をポリオへ寄贈  
ロータリー平和センターへ寄贈

※DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500\$以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。

### 3、免税

2010年12月24日、(公財)ロータリー日本財団が認定されました。これにより、ロータリー財団への寄付は、確定申告の手続きをすることにより、個人・法人共に税制上の優遇措置の対象となります。税額控除と所得控除があるので、税理士に相談して下さい。

## 4、認証制度

- 1、「財団の友」会員－(EREY・・・毎年100ドル)
- 2、ポール・ハリス・フェロー又はベネファクター
- 3、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
- 4、ポール・ハリス・ソサエティ(P. H. S)
- 5、メジャードナー
- 6、アーチ・クランフ・ソサエティ(A. K. S)

## 5、年次基金寄付ゼロクラブ解消

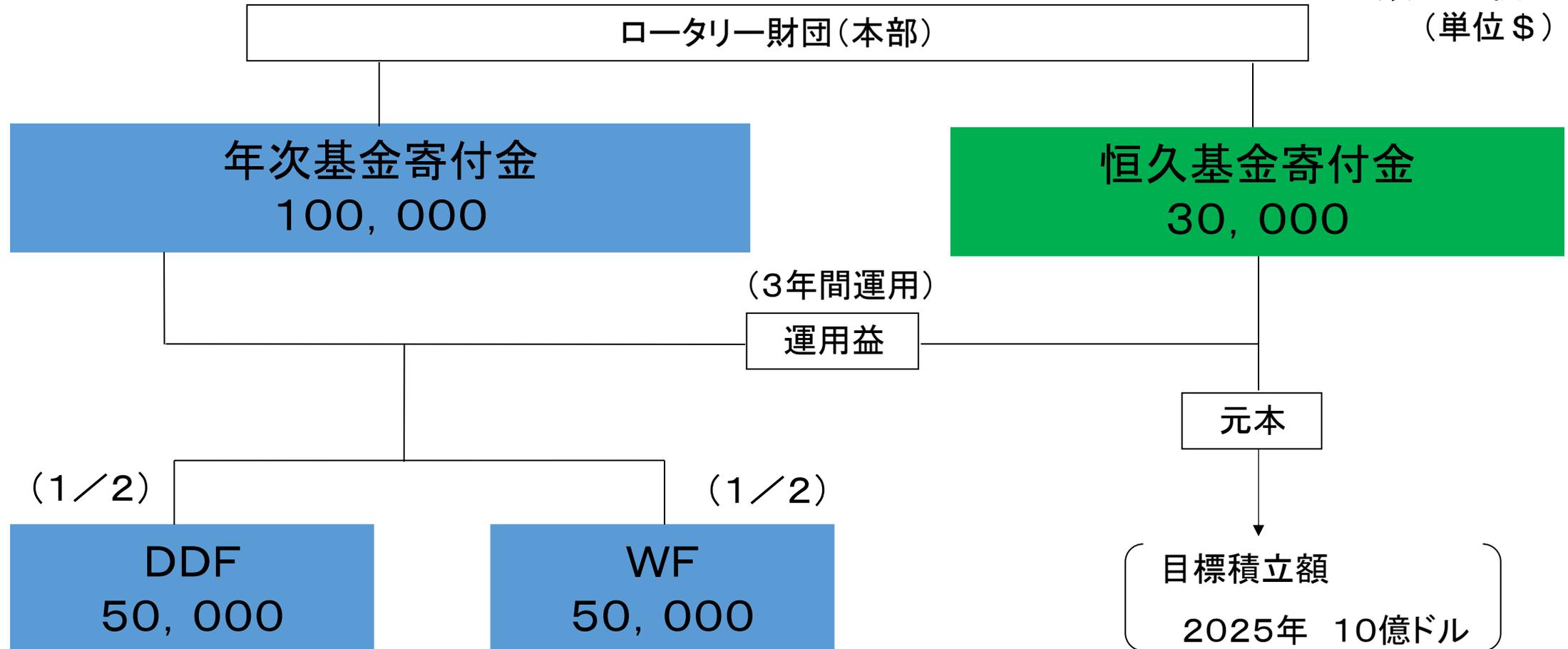
地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2016年1月19日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	29	2620	22	2740	25
2510	23	2630	12	2750	10
2520	31	2640	22	2760	8
2530	26	2650	7	2770	8
2540	18	2660	11	2780	13
2550	15	2670	19	2790	18
2560	9	2680	9	2800	3
2570	0	2690	10	2820	5
2580	10	2700	18	2830	7
2590	3	2710	9	2840	7
2600	6	2720	28	計	496
2610	26	2730	29		

# 第4 補助金

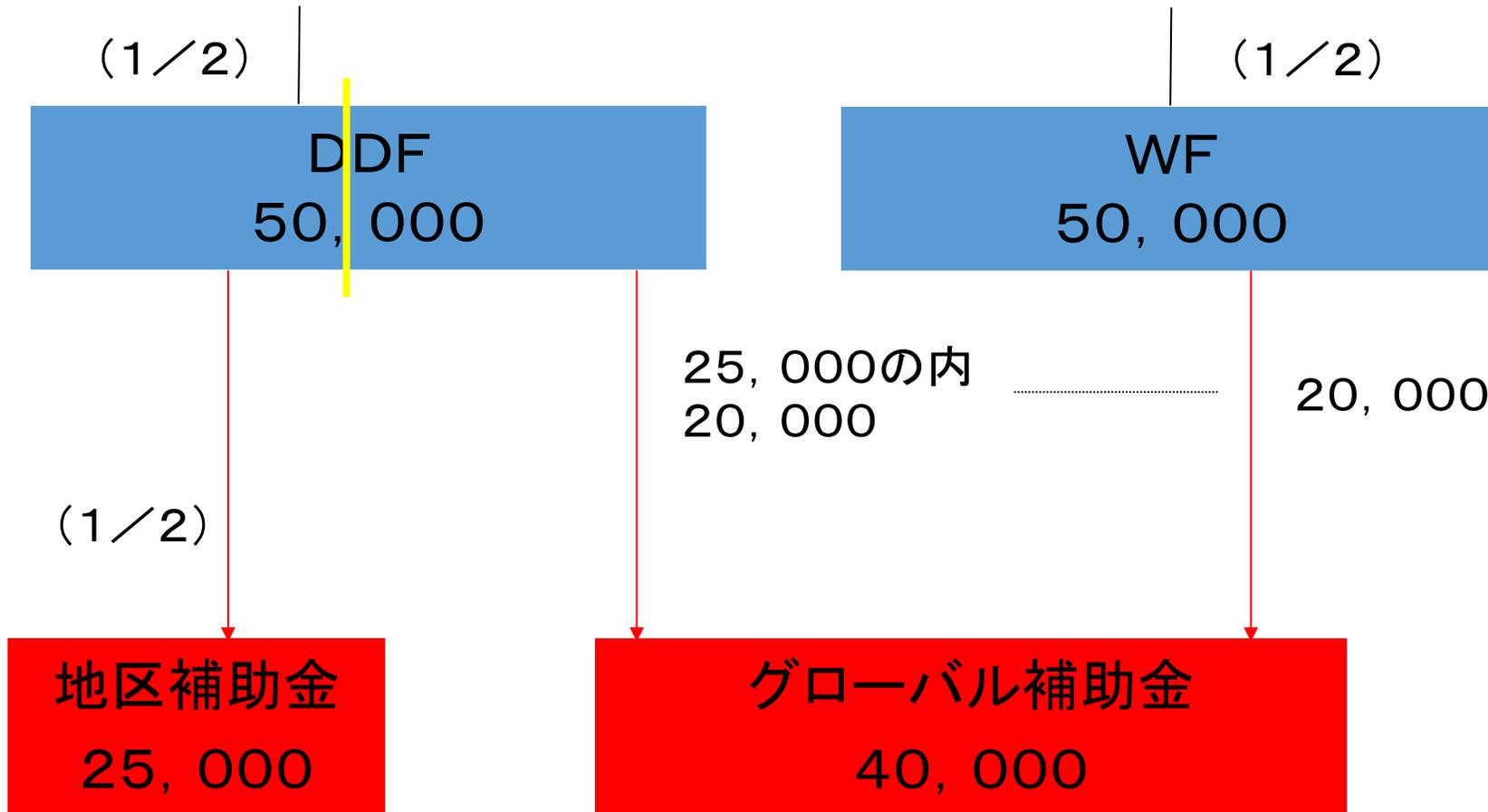
数字は例示  
(単位\$)



2017年に変更後、  
2014~2015年で10億ドル集める。  
サンパウロ大会で発表。

# 第5 未来の夢計画 (Future. Vision. Plan)

数字は例示  
(単位\$)



## 第6 地区補助金

- 1、地区又はクラブが、行いたいと考えるロータリー活動を支援する。  
国内外を問わないが、ロータリー財団の使命に適合し、ロータリアンが直接参加すること。
- 2、地区は各クラブからの要請をまとめ、ロータリー財団に対し、実施年度に入る前に使用計画をつけて、年一回一括申請。
- 3、以下は、手続の一例
  - イ、1～2月 補助金管理セミナー・覚書(MOU)への調印ー参加資格認定
  - ロ、3～4月 クラブより地区へ申請
  - ハ、5月頃 地区よりロータリー財団へ申請

# 第7 グローバル補助金

- 1、二つの国のクラブ又は地区が、パートナーとなつて行う大規模な国際的ロータリー活動を支援する。
- 2、活動は“6つの重点分野”のいずれかに該当することが必要。
  - イ 平和と紛争予防／紛争解決
  - ロ 疾病予防と治療
  - ハ 水と衛生
  - ニ 子の健康
  - ホ 基本的教育と識字率向上
  - ヘ 経済と地域社会の発展
- 3、地区は、提案書をつけて1件毎にロータリー財団に申請。
- 4、1件毎の活動規模 3万\$～20\$  
DDF:WF=1:1 現金:WF=2:1
- 5、持続可能で測定可能(事業終了後にも効果の残るもの)
- 6、人道的支援・奨学金・職業研修(VTT)

# 第8 グローバル補助金の現状

## 【補助金】

・地区補助金：世界 448 件 日本 34 件

## ・グローバル補助金：

### 重点分野別

重点分野	世界	日本
基本的教育と識字率向上	133	8
経済と地域社会の発展	330	14
疾病予防と治療	167	30
水と衛生	302	11
平和と紛争予防・紛争解決	68	8
母子の健康	78	2
合計	1,078	73

### 活動の種類別

活動の種類	世界	日本
人道的	831	39
人道的+SCH+VTT	1	0
人道的+VTT	45	1
奨学金	171	28
職業研修チーム(VTT)	30	5
合計	1,078	73

## 地区別利用件数

※VTT=職業研修チーム

\*2013-14年度以来の累計

2015年6月末

地区	人道的	人道的+VTT*	VTT*	奨学金	合計(累計*)	地区	人道的	人道的+VTT*	VTT*	奨学金	合計(累計*)
2500	3				3(8)	2680	1		1	2	4(7)
2510	2				2(2)	2690					0(0)
2520				1	1(5)	2700				1	1(2)
2530					0(1)	2710	2	1	1	3	7(9)
2540					0(0)	2720					0(0)
2550	1				1(1)	2730					0(1)
2560	1			1	2(5)	2740				1	1(3)
2570	1				1(4)	2750	2			5	7(17)
2580				2	2(7)	2760	1		1	2	4(9)
2590	1				1(4)	2770	4		1	1	6(12)
2600					0(1)	2780	2			4	6(10)
2610				1	1(2)	2790	2				2(7)
2620	2				2(4)	2800	1				1(1)
2630	1				1(1)	2820	1				1(5)
2640					0(1)	2830					0(1)
2650	3			2	5(6)	2840	2				2(4)
2660	6		1	1	8(18)	総計	39	1	5	28	73(161)
2670				1	1(3)						

# 第9 寄付変遷(2013~2014年次報告より)

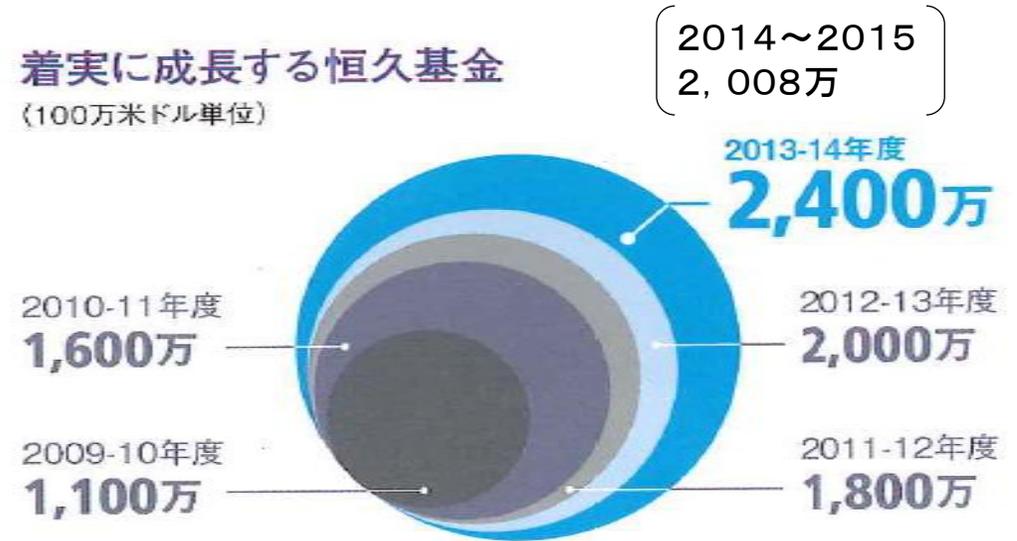
## 史上最大の年次基金

(100万米ドル単位)



## 着実に成長する恒久基金

(100万米ドル単位)



年次基金への寄付:  
ロータリー会員  
1人当たり  
(2013-14年度すべて米ドル)

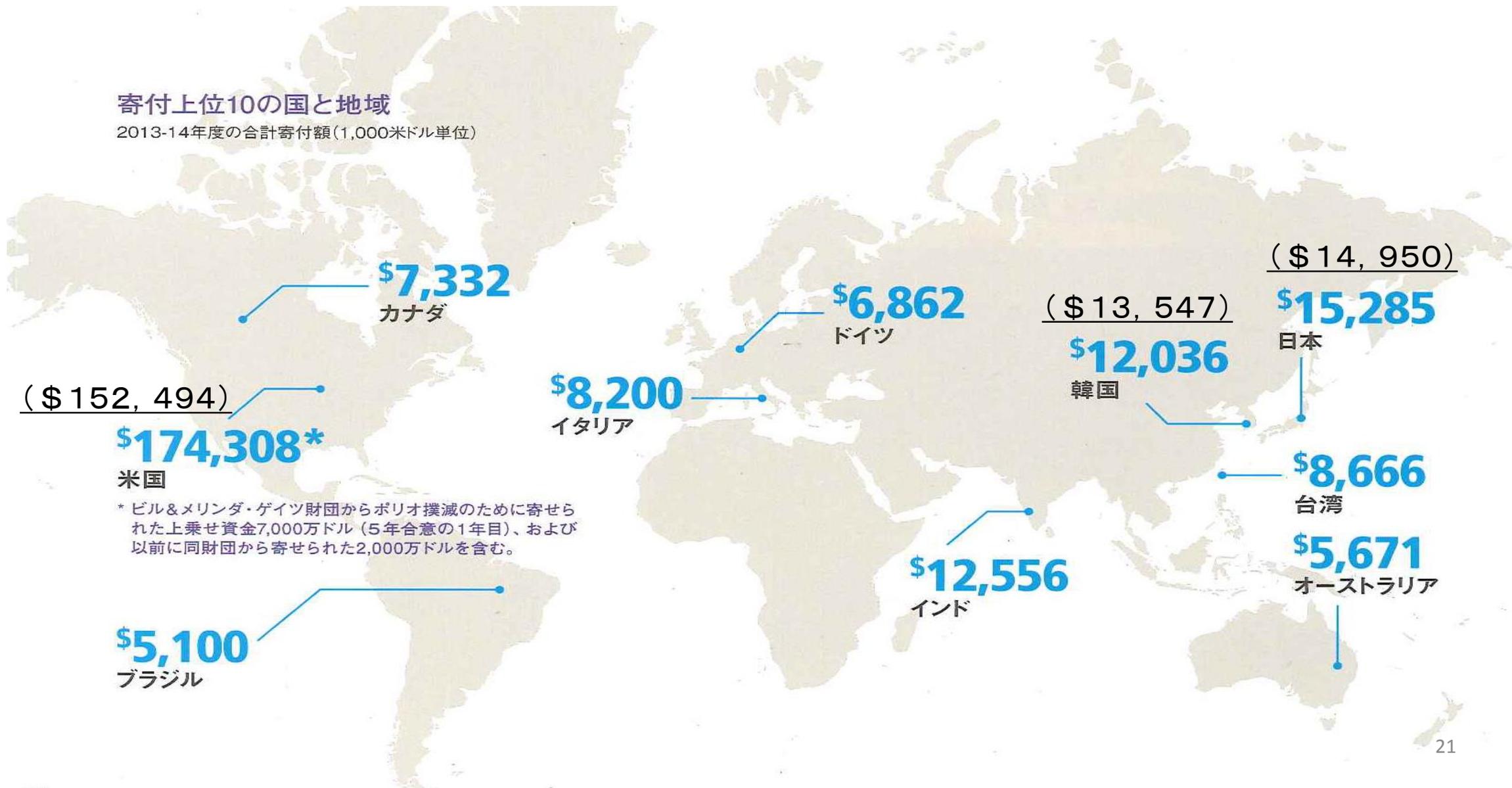


# 第10 寄付額

( )は、14~15年度(暫定)

## 寄付上位10の国と地域

2013-14年度の合計寄付額(1,000米ドル単位)



\* ビル&メリンダ・ゲイツ財団からポリオ撲滅のために寄せられた上乗せ資金7,000万ドル(5年合意の1年目)、および以前に同財団から寄せられた2,000万ドルを含む。

# 第11 ポリオ・プラス

1、1980年 3Hプログラム(人道プログラム始まり)  
(Health, Hunger, Humanity)

2、1985年 ポリオ・プラス・プログラム  
↳ (麻疹・ジフテリア・結核・百日咳・破傷風)

2000年迄の5年間で1億2千万\$を集める。毎年1億人の子供にワクチンを投与する。  
1988年迄に2億4700万\$集まるも、35万件の発症があった。

3、2007年 ロータリーの最優先目標  
12600件の発症例を0にする

4、2013～2018年 ポリオ撲滅戦略計画  
ビルゲイツ財団 年間7000万\$寄贈  
ロータリー財団 年間3500万\$寄贈

5、野生ポリオウイルス常在国  
ナイジェリア(0件)・アフガニスタン(8件)・パキスタン(29件)  
(ナイジェリアは、2015年8月ポリオフリー)

# RRFC

(Regional.Rotary.Foundation.Coordinators)

クラブ(会長)・・・35221(日本2369)

地区(ガバナー)・・・537(日本34地区)

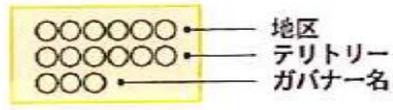
地域(コーディネーター)・・・34のゾーンを中心に41  
(日本3ゾーン)

(2015年10月31日現在)

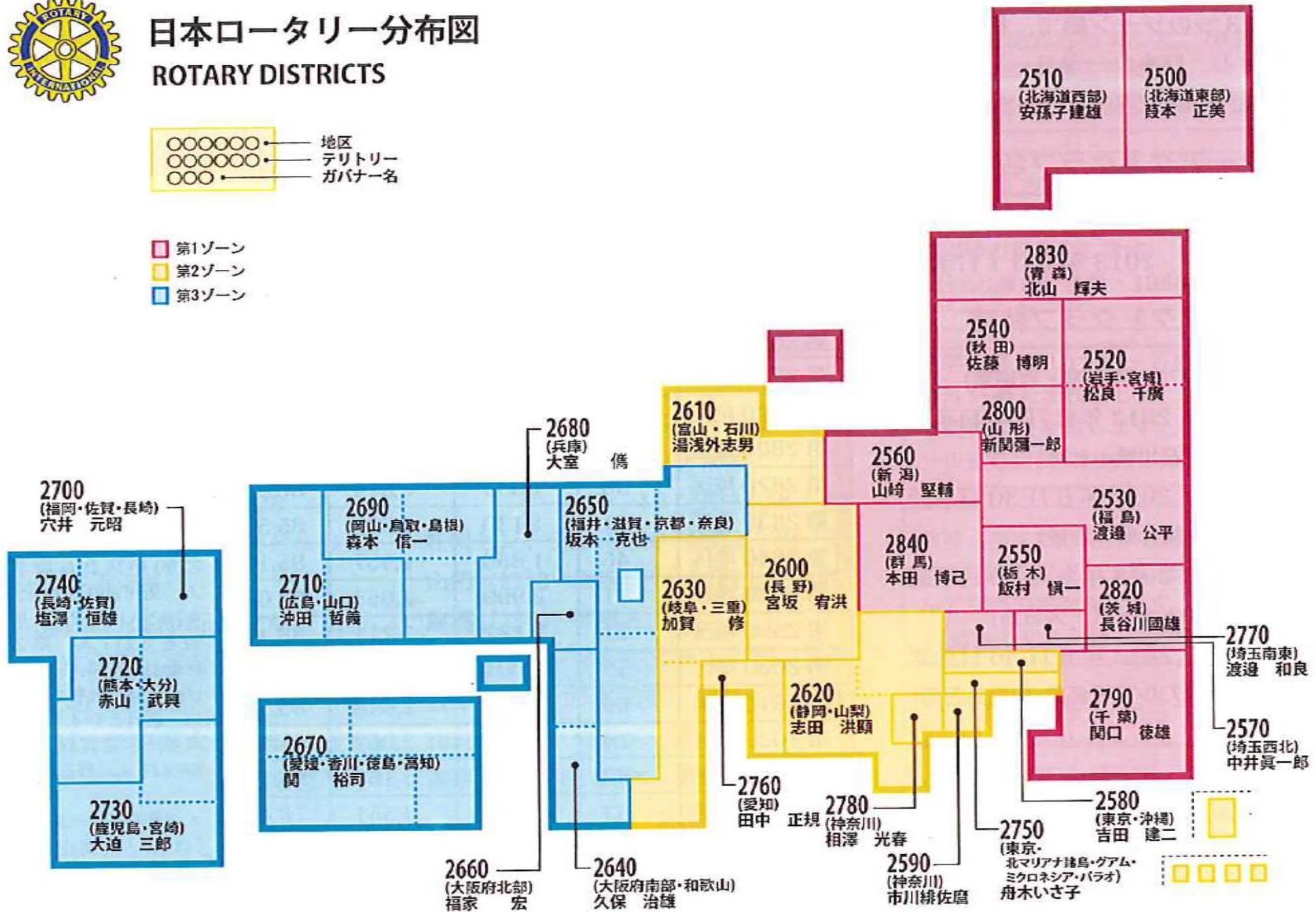


# 日本ロータリー分布図

## ROTARY DISTRICTS



- 第1ゾーン
- 第2ゾーン
- 第3ゾーン



## IV 2016年3月20日PETSグループ討論まとめ

### 1, 事前説明; 会長エレクト研修会セッションテーマ

#### “我々会員にとりガバナーとは？その選び方は？”

当地区では近年ガバナー選出を巡り様々な議論と混乱がありました。

RIと我々会員を繋ぐ唯一の役員たるガバナーの選び方で混乱が起きる事は即ち地区の混乱の元となります。

この際クラブを代表する会長エレクト全員で正面から、基礎から議論する事が次年度の地区運営に極めて有意義であると考え、本テーマを設定致しました。

本日のわたくしの問題提起を一つの触媒として、3月20日の2回目PETSまでにクラブ内外でご議論頂き、会長エレクト様のご所見もしっかり加えて頂き当日のセッションにご参加頂ければPETSの一つの大きな実りとなると信じます。もとより結論が出る筈も無く、一つに収斂する事さえ困難な事は承知しています。

しかし、ここで“ガバナーという仕組み”を誤解していないか、思い込んでいないかと確認しつつ、四つのテストに則り我々のガバナーがそしてその選び方が、“真実”か“公平”か“好意と友情”に資するか“みんなのために”になっているかを共に確認できる場となれば将来の当地区に咲くだろう大輪の花の為の立派な水やりとなると考えています。

よろしくご議論願います。

## 2. セッションで出た意見の要約

### テーマ「我々会員にとりガバナーとは？その選び方は？」

#### Aグループ 坂本ガバナー補佐

(串本、那智勝浦、田辺、田辺はまゆう、田辺東 )

- ・指名委員会を支持する。
- ・選挙は混乱時。岡本年度を決める時、混乱時であった。岡本年度の次も選挙で良いと思うが、その次か、次の次くらいは指名委員会にすべきだ。
- ・Eクラブからはガバナーを出すのは如何なものか？
- ・指名委員会は、あくまでも暴走をとめる為、透明性を高める為である。

#### Bグループ 丸山ガバナー補佐

(海南・海南東、海南西、有田、有田南、有田2000、御坊南、御坊東、御坊)

- ・指名委員会では、同じ派閥の人が出てくるので、ガバナーは必ずクラブの推薦を受け、偏らない候補者を指名委員会で検討する。  
順番は、旧IM単位で決めてはどうか。
- ・ガバナー事務所はガバナーの動きやすい所が良い。
- ・地区委員は、クラブの推薦を頂き本人の意思で選ぶ。  
(1本釣りでも仕方ないが、クラブ(会長)の承認をうけて欲しい)

## Cグループ 山下ガバナー補佐

(和歌山、和歌山アゼリア、和歌山北、和歌山城南、和歌山南、)

- ・手続要覧を解りやすいように。
- ・文章を解りやすく日本文で作って欲しい
- ・どのあたりから地区がおかしくなってきたのかを第三者委員会(調査委員会)で今回のごたごたを解明し後世に残す。
- ・ガバナー選出方法はその時代の地区大会決議にまかせる  
ガバナー選出は、3つの方法を当年度が決めれば良い
- ・名ばかりの指名委員会が、偏り悪くなる方向で選ばれるのはどうか？  
間違った(良くない人たちによる)指名委員はダメ
- ・ガバナーの仕事が多すぎる。もう少し減らせば候補者が出るのでは？  
小さなクラブでは、ガバナーのフォローが出来ないのでそのあたりを考えて、小さなクラブでもGを出せるように考える。
- ・ガバナー事務所は、固定した方が良いのでは。経費削減。  
地理的にも、時間的にも和歌山市内が良いのでは。
- ・ガバナーは、クラブの承認を得なければならない。
- ・大阪ー和歌山で毎年交代する必要はないのでは。

## Dグループ 谷口ガバナー補佐

(河内長野高野街道、岩出、高野山、粉河、橋本、ワールド大阪E)

- ・こういう会議に於いてパストガバナーの出席が少ない。過去には多くのPGが出席していた。PG達は、地区のクラブの事情を良く知っている。だから大で、和歌山でとガバナーエレクトを出そうと責任をもって行動していた。それで旧IM単位に話しを持って行き、そのIMが責任をもってエレクトを出そうとしていた。それだけPGには、尊敬も責任もあった。指名委員会にも信頼があった。指名委員会の選任が大事。
- ・旧IMの組分を大事にして活用する
- ・ガバナーが出るとクラブが分裂することもあり、大変である。
- ・選挙にすると、立候補者の人となりが解らない。

## Eグループ 豊岡ガバナー補佐

(松原、河内長野、富田林、富田林、富田林南、和歌山中)

- ・RCは皆様の善意でなりたっているために、組織の脆弱さを呼んでしまう。そこを突いてこられると組織が崩壊してしまうので、組織の存続を担保するルールが必要なのでは。
- ・地域間のバランスをとる
- ・ガバナーを出すとクラブが大変なので慎重になる。
- ・IM単位でガバナーを出すべき。Gが出る年はクラブだけの負担とせずIM単で協力する。
- ・双方に便利な場所に固定の事務所を作る。
- ・ロータリーに精通したロータリアンに事務局長になってもらう。
- ・この様な話し合いの場が持てて良かった。

## Fグループ 毛利ガバナー補佐

(泉佐野、関西国際空港、りんくう泉佐野、岸和田、岸和田東、岸和田南、 貝塚、貝塚コスモス)

- ・ガバナー選出方法は、ガバナーになれる人、立派な人はいるが、クラブとの関係より、クラブの会員数が少ないクラブでは、立候補が出てこない。やはり、指名委員会でガバナーを選出する方法が一番である。IM単位でガバナーを選出するには、エネルギーがいる。会員減少のおり、会員数の多いクラブで選んで頂く、役員委員は、各クラブから推薦により、出て行く(ロータリアンは断れない事)
- ・ガバナーは、慣習にのっとり大阪と和歌山交代で出す。
- ・ガバナー事務所は固定する。(事務員の継続が必要)
- ・思い切って会長・ガバナーは2年制にしてはとの意見もあったが、手続要覧改正が必要で無理。

## Gグループ 中田副代表幹事

(和泉、和泉南、泉大津、羽衣、大阪金剛、堺)

1. スムーズにガバナーを選出出来ない原因は何か。
  - ・各クラブの会員はガバナー選出にあまり関心がない。
  - ・各クラブの会員はガバナーの仕事の内容を理解出来ていない。
  - ・ガバナーを選出したら、やたら仕事が増加するので積極的に推進しない。
  - ・ガバナー選出のルールを守っていない、クラブ推薦なしでガバナーになっている。
  - ・ガバナー選出のルール及び経緯が充分クラブ会員まで理解していない。

## 2. スムーズにガバナーを選出するための解決策

- ・単独クラブではなく近隣クラブが集まって長期的にガバナーの選出の検討会を定期的に行い、地区に報告書を提出。クラブの構成員が減っているので多数のクラブでガバナーを出す。
- ・指名委員会制に戻し、選出の諮問委員会的な組織を(IM単位でも可)を作り数年先のガバナー候補を検討する機会を作る。
- ・ガバナーの仕事の負担を大幅に見直し仕事の削減を計る。  
公式訪問をIM単位別→但し半日位をかける。  
会長幹事との打合せもIM単位別→但し半日位をかける。  
周年行事等参加をガバナー補佐に代行→但し10周年単位はガバナー出席。
- ・ガバナーとして、人望、人格見識のある人を選ぶ、指名委員会制度の復活。

### Hグループ 上松瀬ガバナー補佐

(堺、堺南、堺東南、堺東、堺泉ヶ丘、堺清陵、堺中)

- ・ガバナー選出に当たっては、クラブが推薦する人が第一である。ガバナーは人望があり金と暇があれば出来るが、クラブが大変であり、親クラブ・子クラブとの協力が必要。
- ・ガバナー事務所については、中心となる和歌山市内に固定した事務所と事務員を置く。(経費軽減)

- ・すべての経費については、ガラス張りにするべき。閲覧出来るように。
- ・地区内クラブから監査委員を選任する。
- ・地区の役員について  
固定された人材でなく、各クラブから広く若い人材を選任する。
- ・大阪と和歌山の交代制について  
きちんと決める必要はないが、交互にガバナーを出すのが妥当。

### Iグループ 山中ガバナー補佐

(堺北、堺おおいずみ、堺フラワー、堺利晶、KUMATORI向日葵)

- ・新しい事を始める時には、前年度、前々年度の反省があり新しい事を聞けるが、この事と古い事を開示した上で、新しい事に取り組んでほしい。
- ・前のことを検証して、予算を決めて欲しい。
- ・もし判らなければ検証委員会を作ってでもやる。
- ・心構えがガバナーエレクトにほしい。
- ・過去をほっておいて新しい事に取り組めない。
- ・ガバナーは、クラブの承認無しでは出さない。

以 上